

令和5年度第2回幕別町総合教育会議議事録

1 開催日時 令和5年10月24日(火) 16:00~16:45

2 開催場所 役場3-A B会議室

3 出席委員(6名)

幕別町長	飯田 晴義
幕別町教育委員会教育長	菅野 勇次
教育委員	小尾 一彦
教育委員	岩谷 史人
教育委員	國安 環
教育委員	東 みどり

4 会議次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 意見交換

- ① 第7次幕別町生涯学習中期計画アンケートについて
- ② 幕別中学校を活用した義務教育学校の設置に係る方針(案)について

5 事務局出席者

幕別町企画総務部長	山端 広和
“ 政策推進課長	白坂 博司
“ 政策推進課副主幹	太刀野 亜也乃
幕別町教育委員会教育部長	川瀬 吉治
“ 学校教育課長	西田 建司
“ 生涯学習課長	石田 晋一
“ 学校給食センター所長	守屋 敦史
“ 図書館長	岩岡 夢貴
“ 学校教育課総務係長	小野 敦

6 傍聴者

3人

7 議事録

【開会挨拶】

(政策推進課長)

皆さん、こんにちは

定刻となりましたので、ただいまから令和5年度第2回幕別町総合教育会議を開催いたします。

はじめに飯田町長からご挨拶を申し上げます。

(町長)

改めまして、こんにちは

本日の会議にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

前回は7月下旬でありまして、あの頃は、ちょうど小麦の収穫の真最中で、今年は史上最高の出来秋を迎えるか、そんな期待感でいっぱいだったわけですが、その後、猛暑に見舞われました。

この夏を振り返ってみると、真夏日が31日あったということでもあります。

そのうち猛暑日は5日あり、その影響で7月の期待とは裏腹に、結果的には農作物も非常にいろんな障害や病気が発生して、過剰な期待をしてしまったのかなという、そんな感じがあります。

一方では、この猛暑を受けて、各町村では小中学校におけるエアコン設備について、急遽、予算計上しているところもありますけど、そういう意味では、2年前にコロナの交付金をうまく使えたのでは、と考えております。

子供たちも良い環境の中で学びができていると安心しております。

今日の議題は、今、まさに策定中であります「第7次幕別町生涯学習中期計画アンケートについて」と「幕別中学校を活用した義務教育学校の設置に係る方針(案)について」意見交換をさせていただきたいと考えております。

義務教育学校については、保護者説明会を終えて、一定の方向性について示させていただき理解を得たという状況にあります。

後は、実施に向けて、細部について気を付けなければならない点をなるべく解消して、ソフトランディングしていければと思っております。

この後、教育委員会会議があるということで、短い時間ではありますが、実りある協議をさせていただければと考えております。

よろしく申し上げます。

【総合教育会議意見交換（協議事項の説明のみ）】

(町長)

それでは、協議事項(1)「第7次幕別町生涯学習中期計画アンケートについて」を議題とします。事務局から説明願います。

(生涯学習課長)

私の方から資料1に基づきまして、生涯学習中期計画、スポーツ推進計画及び教育大綱策定スケジュールにつきまして、現在のアンケートの進捗状況について、ご説明申し上げます。

前回の第1回総合教育会議後のスケジュールについて、資料1の左上から斜め右下に下がる【生涯学習中期計画・スポーツ推進計画】のスケジュールの表をご覧になっていただきたいと思っております。

第3回社会教育委員会会議であります、当初8月下旬に開催予定しておりましたが日程調整の結果、9月22日に開催しております。

同日に、この少し下になります、第2回スポーツ推進委員会を開催しまして、それぞれ、中期計画の評価とアンケートの協議、スポーツ推進委員会におきましては、スポーツ推進計画の評価とアンケートの内容について、意見交換を行っているところであります。

この会議が遅れたことに伴いまして、9月中旬に予定していたアンケートの発送を10月11日に行っております。

回収時期を10月上旬としていたものが10月24日までに変更し、現在、回収しているところであります。

アンケート集計分析につきましては、10月中旬としたもの10月下旬までに会議を開催し、協議するよう進めております。

この会議の進捗状況の遅れと、本日の会議が当初予定の10月30日から早まったことに伴いまして、本日、予定しておりましたアンケート集計の結果と分析内容の報告については、今回できないような状態となっているところであります。

今後のスケジュールであります、11月1日に第4回社会教育委員会会議を開催しまして、各部会の進捗状況の確認、それとアンケート結果についてお示しし、専門部会に分かれて、計画書の文書の作成にとりかかってまいります。

その後のスケジュールにつきましては、当初予定したスケジュールに基づいて、作業を進めていきたいと考えています。

先ほどご説明しました資料2-1の9歳から17歳用のアンケートを702通、発送しております。

資料2-2の18歳以上につきましては766通、合計1,468通を発送しています。

5年前の第6次策定時のアンケートの回収率は45%ですから、今回も同様の率の場合、660通が回収になります。

集計と分析を進めて、計画書の策定を進めてまいりたいと考えております。

どうぞよろしく申し上げます。

(町長)

総合教育会議としては、アンケート結果について、次回の総合教育会議の中で説明をして、

どのような協議内容になるのでしょうか。

(生涯学習課長)

総合教育会議におきまして、アンケート結果をお示しし、同時に計画案をお示ししたいというふうに考えております。

(政策推進課長)

私の方から、教育大綱の関係を軽く触れさせていただきたいと思います。

ただいまの生涯学習課長の説明に伴いまして、資料1の教育大綱がございまして、本日の第2回において、素案の作成ということとなっておりますけれども、生涯学習中期計画を踏まえた作成となっておりますことから、総合教育会議の議題としましては、次回に延期ということで考えておりまして、12月19日の第3回と、2月19日の第4回の2回で、内容を、ご審議いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(町長)

何かご質問ありますでしょうか。

パブコメの期間はいつからいつまでになっていますか。

(生涯学習課長)

スケジュールの中間の下の方に“パブコメ”の記載があると思うのですが、1月の中ぐらいに実施したいと考えております。

(町長)

1月中旬から2月中旬ですと、2月19日の第4回総合教育会議に間に合いますか。

(生涯学習課長)

間に合うように、早めに取り掛かっていきたいと考えています。

(町長)

生涯学習中期計画と教育大綱のパブコメは同時ですね。

(政策推進課長)

はい。

(町長)

具体的なものは、今日はありませんので、次回にということをお願いいたします。

(1)につきましては、これで終わります。

続きまして「幕別中学校を活用した義務教育学校の設置に係る方針（案）について」説明をお願いします。

（学校教育課長）

それでは「幕別中学校を活用した義務教育学校の設置に係る方針（案）について」説明いたします。

資料3をご覧ください。

こちらは、令和4年7月に策定した「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について」を基本として、その後の検討結果等を踏まえて、今回の方針（案）をまとめたものになります。

これまでも、皆様にご説明申し上げた内容が大半ですので、今回の方針（案）の中で、追加したものなどを中心にご説明申し上げます。

2ページをお開きください。

「1 はじめに」であります。

こちらは、本「方針（案）」を定める、経緯や経過を記載したのものになります。

下段の3行「以上を踏まえ」からが、追加したものになりますので読み上げます。

以上を踏まえ、令和4年7月に「幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育の進め方について」を策定し、幕別小学校と幕別中学校の今後の小中一貫教育を推進するに当たり、次の3通りから、「まくべつ学園」のあり方と施設整備の方向性を検討してまいりました。

(1)の幕別小学校と幕別中学校を使用した「施設分離型」の「小中一貫型小学校・中学校」、(2)の幕別小学校あるいは幕別中学校を活用した「施設一体型」の「小中一貫型小学校・中学校」、(3)の幕別小学校あるいは幕別中学校を活用した「義務教育学校」であります。

この間、保護者に対しましては、令和4年11月と12月に、幕別小中学校それぞれで保護者懇談会、令和5年2月には、まくべつ学園講演会を開催し、具体的な内容を聞いていただき、皆様に考えていただく場面を設け、5月には、幕別小中学校全保護者を対象に、「まくべつ学園」のあり方と施設整備の方向性の検討内容について、保護者の考えや浸透度合いを把握するため、アンケート調査を実施したところであります。

また、令和5年1月から毎月、幕別小中学校で発出する「学校だより」で、検討している内容などの説明のほか、小中一貫教育、大空学園義務教育学校での取組やメリットなど、シリーズ化しながらお伝えしてまいりました。

教育委員会としては、「まくべつ学園」で小中一貫教育が積極的に取り組まれていることや、保護者アンケート調査の結果で「義務教育学校」とする回答が最も多かったこと、「義務教育学校」のメリットが相当大きいこと、建築年数や劣化度調査などの結果から、幕別中学校の活用が適切であることなどを総合的に考え、「幕別中学校を活用した義務教育学校（案）」の方向性を示し、9月には「地域説明会」を開催したところであります。

以上を踏まえ、「まくべつ学園」の更なる小中一貫教育の推進にあたり、「幕別中学校を活用した義務教育学校」の設置に係る本方針を定めるものであります。

続いて、4ページをお開きください。

「2 幕別小学校及び幕別中学校の歴史及び特色ある教育活動」であります。

こちらは、それぞれの校舎や屋内運動場の建設年度、特色ある教育活動などについて記載したものにりますが、説明は省略いたします。

続いて、5ページをご覧ください。

「3 小中一貫教育の取組」であります。

こちらは、「本町全体」と「まくべつ学園」の小中一貫教育の取組についてであります。また、「(2)「まくべつ学園」の小中一貫教育」を少々、説明いたしますので、一番下段の「9年間の一貫した」からご覧ください。

9年間の一貫した系統的な教育課程の編成を実施しています。

6ページをお開きください。

その他、中学校教員の小学校への乗入授業、小学生の中学校登校のほか、小学校と中学校が連携した児童生徒会活動を通じて、地域のお年寄りへの暑中しがきや年賀状を送る活動や清掃など地域ボランティア活動、毎朝のあいさつ運動、いじめ撲滅運動など、小中一貫教育に積極的に取り組んでいるところであります。ということで、以下、説明は省略いたしますが、「成果」においても、乗入授業による効果が現れていること、「乗入授業アンケート結果」では、児童・生徒と教員双方にメリットが出ていることなどがうかがえるものであります。

続いて、7ページをご覧ください。

「表-1 令和5年5月現在の北海道内の小中一貫教育の設置・導入状況」をご覧ください。

まず、「義務教育学校」の学校数をご覧くださいますが、本年度24校で、カッコ書きの昨年度19校から5校の増であります。

また、「小中一貫型小・中学校」では、中学校数で本年度52校、昨年度41校ですので11校の増であります。

このように、北海道内においても、「義務教育学校」と「小中一貫型小・中学校」が少しずつ増えていることがおわかりいただけると思います。

続いて、「4 児童生徒数の推移及び将来の見通し」であります。

令和5年度の数字に置き換えているところもありますので、少々、省略しながら説明いたしますが、冒頭の最終行にありますように、地区全体では将来的に児童生徒数が減少する見通しとなっています。個々の見通しでは、まず、「(1) 幕別小学校」では、令和5年5月1日現在の児童数は163人、通常学級6学級、特別支援学級8学級となっております。今後は、令和27年度までに児童数は緩やかな減少傾向にあり、学級数は通常学級の6学級は変わらず、特別支援学級も現在と変わらず7～6学級で推移することが予想されます。

「(2)幕別中学校」では、令和5年5月1日現在の生徒数は83人、通常学級3学級、特別支援学級3学級となっております。今後は、令和27年度までに生徒数は緩やかな減少傾向にあり、学級数は通常学級の3学級は変わらず、特別支援学級は令和7年度に6学級に増加し、その後は5～4学級で推移することが予想されます。

なお、以上のとおり、幕別小学校、幕別中学校ともに、児童生徒数は減少していくものの、各学年の通常学級1クラスは変わらず推移するものと考えております。

10ページをお開きください。

次に、「(3)通学区域の状況」につきましては、説明を省略しますが、幕別小学校と幕別中学校の通学区域は、全て一致しており、「表-3 幕別小学校、幕別中学校スクールバス路線」のとおり、スクールバスを5路線、6台で運行しています。

次に、「(4)学校施設の状況」ですが、こちらにも、確認のため、少々、省略しながら説明いたします。

まず、「①幕別小学校」では、幕別小学校校舎の劣化状況評価の健全度は、札内南小学校及び札内北小学校校舎とともに37点で最も低い結果となっており、第1期に長寿命化工事を実施する計画となっております。

また、屋内運動場は、健全度が45点で他の学校施設と比較しても低い点数となっており、第1期で長寿命化工事を実施する計画となっております。

11ページをご覧ください。

次に、「②幕別中学校」では、幕別中学校校舎は、健全度は59点、第1期に予防保全的な改修工事を実施し、第3期に長寿命化工事を実施する計画となっております。

また、屋内運動場は、健全度が65点、第3期に長寿命化工事を実施する計画となっております。

続いて、12ページをお開きください。

「5 施設整備の方向性」であります、「1 はじめに」で説明した、3通りの施設整備の方向性が考えられるというものですので、説明は省略いたします。

続いて、13ページをご覧ください。

「6 今後の「まくべつ学園」のあり方」であります、こちらは、今回の方針(案)の最終的な締めの部分になります。

9月の「住民説明会」でも説明した内容になりますが、今回、新たに追加する部分になりますので、順番に読み上げます。

「(1)これまでの「まくべつ学園」の小中一貫教育の取組について」であります、「まくべつ学園」では、「未来を力強く生きる自立した子どもの育成」を小中一貫教育の目標として掲げ、9年間の一貫した教育課程の編成を実施し、中学校教員の小学校への乗入授業、小学生の中学校登校のほか、小学校と中学校が連携した児童生徒会活動を通じて、様々な活動を行うなど、小中一貫教育に積極的に取り組み、多くの成果を挙げており、更なる推進が必要と考えます。

「(2) 今後の小中一貫教育の進め方に関する保護者アンケート調査の結果について」でありますが、令和5年5月には、幕別小学校と幕別中学校の全ての保護者を対象に、「まくべつ学園」のあり方と施設整備の方向性の検討内容についてアンケート調査を実施したところですが、今後の方向性については、以下のとおり「義務教育学校」が最も高い回答率となりました。

「(3) 義務教育学校で考えられるメリットについて」でありますが、義務教育学校では、教育課程区分を「前期課程6年-後期課程3年」以外にする特例があり、9年間の中で独自の区分を設けて子供たちの発達段階に応じて、効率的な教育課程を組み指導を行うことが可能となります。

また、一つの「学校組織」であることから、1名の校長のリーダーシップのもと、9年間を見通した教育目標を掲げ、児童生徒の指導に当たり、より多くの教職員が関わる事が可能となり、児童生徒の資質や、(14 ページに移り)能力を伸ばすことが期待できることや、9年間継続して、教員間で児童生徒の情報を共有しやすく、児童生徒の個性に応じたきめ細かで丁寧な生徒指導が可能となります。

さらに、義務教育学校における1年生から9年生までの児童生徒が学校行事などを通じた異学年交流による精神的な発達や社会性の育成の効果が期待されております。

その他、「9年間の人間関係の固定化」や「小学校6年生の最高学年の自覚や達成感の低減」などのデメリットも考えられていますが、メリットの方が相当大きく、デメリットは具体的な運営方法によって軽減できると考えます。

「(4) 幕別小学校と幕別中学校の学校施設の状況について」でありますが、「幕別町学校施設の長寿命化計画」に基づき、築約20年(または長寿命化改修から約20年)で予防保全的な改修工事、築約40年で長寿命化改修工事を行うことで、建物を約80年間使用できるように改修を行っていくこととしていますが、両校の学校施設の建築年数や劣化度調査などの結果を踏まえ、「幕別中学校を活用」することで進めてまいりたいと考えています。

「(5) 「幕別中学校を活用した義務教育学校(案)」地域説明会について」でありますが、9月26日に開催した「地域説明会」では、保護者や地域住民、教職員が60名参加し、今後の「まくべつ学園」のあり方として、上記の(1)から(4)までの説明を踏まえ、「幕別中学校を活用した義務教育学校(案)」の方向性を示したところですが、反対する意見はなく、理解を得たものと考えております。

最後に、矢印の下段になりますが、以上のことから、“「幕別中学校を活用した義務教育学校」の設置を進めてまいります。”という方針の結論になるものであります。

続いて、15ページをご覧ください。

「7 今後の主なスケジュールについて」でありますが、こちらも、新たな部分になりますので、読み上げます。

令和5年度末までに札内南小学校の長寿命化改修工事を完了する予定ですが、今後も計画的・継続的に学校施設の長寿命化改修工事を実施していく必要があるため、令和6年度以降に、

教室不足の解消や義務教育学校としての特色ある学校づくりを行うことを念頭にした増築および改修工事を行う予定です。

また、令和5年度中に「本町地区義務教育学校準備協議会（仮称）」を設置し、未就学児童や児童生徒の保護者、まくべつ学園運営協議会の代表者などに加え、幕別小・中学校の校長および教頭を構成員として、「義務教育学校の校名、校歌、校章に関すること」、「義務教育学校の増築および改修に関すること」、「義務教育学校の教育課程区分、指導形態等に関すること」、「義務教育学校の開設準備に関すること」を協議していくことを想定しており、最終的には令和8年4月の開校を目指していく、としているものです。

なお、下段の表になりますが、表の右の欄に「増築及び改修」とありますが、令和6年度に「増築及び改修に係る実施設計」、令和7年度に「工事」を予定しているものですが、具体的な工事の内容につきましては、これから協議していくものになります。

最後に16ページをご覧ください。

参考資料になりますが、まず「参考1」として、23ページまで、本年5月に実施した保護者アンケートの結果概要を添付しております。

続いて、24ページ以降につきましては、幕別小学校と幕別中学校の「配置図」、「平面図」になります。

以上が「幕別中学校を活用した義務教育学校の設置に係る方針（案）」になりますが、この総合教育会議で協議をいただき、会議終了後の教育委員会会議で、この方針（案）の決定を議題といたします。

承認いただければ、10月26日から「パブリックコメント手続」で公表し、30日の期間を設けて町民等から「方針（案）」についての意見等を募集する予定であります。

その後、11月28日に開催予定の教育委員会会議で「パブリックコメント手続き」の意見等を踏まえて、この「方針（案）」を「方針」として決定する予定になっております。

以上で説明を終わります。よろしくお願い申し上げます。

（町長）

質問、ご意見をお願いします。

（岩谷委員）

前段で説明のあった歴史だとか、今の教育の考え方、これから進め方については概ねこれでよろしいかと思っております。

このまま進めていただきたいと思います。

15ページの「7 今後のスケジュールについて」ですけれども、本町地区義務教育学校準備協議会に、教育委員会関係者がどの程度の方まで入るのが質問であるのと、これは方法として考えられることは、地域学校協働活動推進員のような方、地域と学校を結びつけるコーディネーター役の方が、それまでに決まれば、この中に入れて、できれば義務教育学校を、

今後どのようにこうやっていくのかっていうところのアドバイスをもらえるとありがたいというふうに思います。

(町長)

コーディネーターを置くという事ですね。これはどのように考えていますか。

(学校教育課長)

先ほど、若干、説明の中でも触れましたが、協議会のメンバーの現在の案につきましては、中身はまだこれから、さらに詰めていくことになるのですが、小学校、中学校の保護者はもちろん、未就学児の今の保育所と幼稚園の保護者、さらには今の段階では学校運営協議会の委員の方、コミュニティスクールの委員の方に入っていただくということを考えておりますが、岩谷委員がおっしゃった、地学協働でいうところの地域コーディネーターは、幕別学園におりませんし、おそらくタイムスケジュール的に地域コーディネーターを置くということは間に合わないと思っておりますので、学校運営協議会の委員並びに、それに類するような、地域の方と繋がりを持って活動されている方に入っていただく予定で進めていきたいと考えております。

(町長)

わかりました。本町地区義務教育学校準備協議会の位置づけ、法的性格はどのようになりますか。

(教育長)

条例改正等をして、条例に基づく附属機関として新設する予定です。

(町長)

わかりました。

他にはありませんか。

(東委員)

方針案を拝見した意見といいますか、感想を述べさせていただきたいと思います。

義務教育学校を作っていくということで、親として期待をしているものの一つとしましては、教職員の先生方が一丸となって、同じ方向を向いて子供たちと接していただきたい。

そうすると、やはり施設分離型の小中一貫型よりは、義務教育学校という形の方が、12ページにも書いてあるように、教員間で児童生徒の情報を共有しやすいと思っておりますので、私としては義務教育学校という形で、進めていただきたいという考えであります。

方針案にきちんとデメリットのことも書いておられますし、新しいことを始めるという

ことに対しての不安というのは、どうしても、これは仕方がないと思っておりますが、その点も14ページに、デメリットは具体的な運営方法によって軽減できると書いてありますので、デメリットを少しでも軽減できるよう、今後、進めていただきたいと思いますという意見です。

(町長)

義務教育学校にむけた応援の言葉でありました。

(小尾委員)

令和4年11月くらいに説明が開かれ、私も出席していますけれど、今年2月の保護者懇談会で大空学園の校長先生を招いての講演会、そして9月の地域説明会で、保護者の方から主だった反対意見というようなものは、まずは出ていないということと、また、地域の方も、義務教育学校のあり方というか中身というのは、なかなか知られてないところがありますけれど、今、ここでも述べられているように、児童生徒も新たな、今までにない教育環境の中で学校生活を過ごすことができる、1年生から9年生までの9年間で、今まで小学生、中学生それぞれ別だったわけですけど、児童生徒が体育祭や文化祭と一緒に活動するという点では、交流できる場がますます増えてくるわけで、中1ギャップなどが解消されるであろうということと、学校の先生方も長い期間で児童生徒の様子を連携して、個人個人の指導が行いやすいという面でのメリットが期待できます。

あとは、児童生徒はもとより、保護者、地域の方々に、親しみ、期待される学校づくりというのが、今後、開校に向けての課題ではないかなというふうに感じます。

私としては、今の児童生徒数や、今の校舎の状況から考えると、幕別中学校での義務教育学校の開設というのが適切だと思います。

ぜひ、進めていただければと思います。

(國安委員)

数年ずっと議論を重ねた中で、色々なケースを照らし合わせて、やはり義務教育学校がいいだろうという行き着いた結論だと私もすごく同感するのですが、引き続き、最高のスタートを切るためには、施設もそうですが、教育課程ですとか、PTAのそれぞれの立場の皆様が、理解と協力で助け合いながら進んでいくというのが必要と思っておりますので、新しいところに踏み出すのは怖かったり、恐れがあったりとかあると思うのですが、子供たちへの愛情を持って、それをみんなで乗り越えていければ、一番嬉しいと思います。

そのためにも、これからも引き続き情報提供をしていただいて、同じ方向を向いて、新しい学校をみんなで作っていきましょうというふうに、進んでいけたらいいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

(町長)

ありがとうございます。

(教育長)

先日、教育長会の全道研修会があり、平成28年から義務教育学校を設置している斜里町の教育長とお話をする機会がありました。

斜里町立知床ウトロ学校ですけれども、小中合わせて70名程度の小規模の学校ではあるのですが、義務教育学校になる前は小中の併設型でした。

併設型の時は小学校の子供たち、小学校の先生たちと中学校の先生たちは同じ校舎の中にいながら、交わることはなかったようです。

それが義務教育学校にして、幅広い年齢層の子供たちが一緒になり、全員の子供たちを小中全員の先生方のたくさんの目でみることで、教育長曰く、子供たちにとっても先生方にとっても、本当に義務教育学校にしてよかった、デメリットはないですよという話をされていまして、その話を聞いて本当に安心しました。

小学6年生の最高学年としてリーダーシップを発揮する場がなくなることが一番大きなデメリットとして考えられるのですが、それについても全然ないということで、知床ウトロ学校は4・3・2制だそうです。最上級の学年の4年生、7年生、9年生がそれぞれリーダーシップを発揮する、だから、逆に2回のところが3回になって返ってよかったという、そんな話も伺いましたので、ここにも書いてあるとおり、デメリットは運営の仕方でも軽減できる、やり方次第で、かえってよくなるのではないかと、そういったことも踏まえて、私も幕別町に義務教育学校を作ってよかったと思えるようにしてまいりたいと思っております。

(町長)

非常に安心できる話を伺いました。私からは要望をお伝えしようと思います。

今、スタート前ですけれども、心配事、懸念材料っていうのは保護者の皆様、持っておられますけれども、学校長が学校経営方針の定めるところで教育課程が決まってくるので、それまでに色々な意見を出して、令和8年の年前ぐらいから教育課程の編成などが始まっていくので、そこに全てを盛り込んでいく形で、スムーズな門出に期待したいところであります。

通常であれば約1月で経営方針を作ると思うのですが、そこは大事なことで、そこで色々な心配事を解消するようお願いしたいと思います。

それと、この後、教育委員会会議で案を決定するというので、気が付いた点を2点、お伝えしておきます。

13ページ「(3) 義務教育学校で考えられるメリットについて」の3行目、「効率的な」という言い方をしていますが、果たして適当なのか、「効果的な」ではないのか、教育は効率

を求めるのではない、そんなふうに思いました。

もう1点、14ページの10行目ぐらいに「メリットの方が相当大きく」という表現であります。が、「相当大きい」というのは、どのくらい大きいのか、数字で比較できるものではないわけで、敢えて入れる必要はなく、「デメリットも考えられますが、デメリットは具体的な運営方針によって軽減できると考えます。」で、よいのではないかと思います。

この後の教育委員会会議で検討いただければと思います。

他にございませんか。

(意見なし)

それでは今日の議案についてはこれで終了します。

事務局から何かありますか。

(政策推進課長)

次回、第3回の開催につきまして、資料1にも記載がありますが、12月19日を予定しております。

資料の準備ができ次第、ご案内させていただきたいと思いますので、ご出席をよろしくお願いいたします。

(町長)

今回は12月19日ということですので、皆様、日程の確保をお願いいたします。

その他、皆様からありませんか。

それでは、以上で、令和5年度第2回幕別町総合教育会議を終了いたします。

どうもありがとうございました。